

“より多くの知識を得ることは、時に心をも豊かにし、人生を楽しむものでございます”  
こんな言葉が以前、TVから流れていました。また、世に名を残す立派な方が共通して“勉強に終わりは無い”なんてことを申されます。

市民交流センターには毎日、各々のジャンルの、勉強大好きな方々が沢山いらっしゃいます。特に学生さんが一生懸命に勉強している姿は、なんとも美しく輝いて見えます。

一方、学校帰りに交流センターを格好の遊び場にしてしまう中高生のお子さんもいらっしゃいます。子どもさん達は悪いこととは知っていても好奇心が先行してしまい、一人では出来ないことでも何人かでやることによって、簡単に行動してしまいます。何度となく注意するも、繰り返し迷惑行為をされたことには手の打ちようがなく困ってしまう時もあります。

私自身も今から50年前、勉強しないで遊んでばかりの悪い高校生でした。でも、いつかは気がつくんです。真面目にやらなければ本当の人生じゃないということに。

大人から幾度となく注意された子どもさん達も、きっと早いうちに心を入れ替え、市民交流センターに集う時が来ると思います。

警備一同、その日の訪れを心から信じて待っています。



警備室 隊長 相澤照男



あたたかく、  
きびしく、  
見守ります!

交流センター 利用案内

フェスティバルパーク

第3弾!

子どもフェスティバル「わくわくマーケット」でにぎわう様子(8/5~8/7)です。



【使用料(1日)】  
・半面 2,100円  
・1面 4,200円

【利用条件】  
・自治会、市民活動団体、非営利団体、個人などであること。  
・無許可での物品販売、火気使用、喫煙禁止



※お気軽に市民交流センター受付にご相談ください。

9月 フールセンター カレンダー

※節電のため、7月から9月までの開館時間は、9時~21時です。

		プール専用使用コース数		交流センター
日	曜日	9~13時	13~15時	会議室関連
1	木		2コース	10月分予約抽選会
2	金			
3	土		2コース	10月分先着順申込
4	日			
5	月	返子小授業 (入場不可)	2コース	
6	火	休館日		
7	水			
8	木	返子小授業 (入場不可)	2コース	
9	金			
10	土		2コース	
11	日			
12	月	返子小授業 (入場不可)	2コース (~15:40)	
13	火			
14	水			
15	木		2コース	
16	金			
17	土		2コース	
18	日			
19	月		2コース	
20	火	休館日		
21	水			
22	木		2コース	
23	金			11月分事前予約受付
24	土		2コース	
25	日			
26	月		2コース (~15:40)	
27	火			
28	水	2コース (10~12)		
29	木		2コース	
30	金			
10/1	土		2コース	11月分予約抽選会
2	日			
3	月		2コース	11月分先着順申込
4	火	休館日		
5	水	2コース (10~12)		

・専用使用がある時間帯は3コースのみの使用となります。  
・小学校3年生以下は、保護者などの付添が必要です。(付添一人につき2人まで)



“育てる男に家族が変える”

鉄道おもちゃのイベント「ブラレール大作戦」を始めて4年目になる。今年6月の開催で10回目を迎え、延べの参加者は1,000人を超えた。蘆花記念公園休憩所の30畳はある大広間にレールをひろげ列車を走らせる。子どもたちは寝転がってトンネルの中を覗いたり、列車と併走したり、電池ではなく手で転がしたりと思いつきで楽しむ。



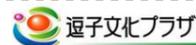
始めたきっかけは、4年前、2歳の子と自宅では不可能な大きなレールのレイアウトで遊んでみたかったという単純な理由だが、もうひとつは、「ほっとスペース」や「陽だまり」のような未就学児の親子が楽しめる場所、その父親バージョンを作りたいというねらいもあった。当時、私は1年間の育児休暇取得中で、父親が子どもと気軽に行ける場所がなかなかないと感じていたからだ。

回を重ねるにつれ、お弁当持参でゆっくり楽しんでくれる父と子が増えてきた。その間、お母さんは美容院にでも行きのんびりしているのか、家事に追われているのか、本当のところはわからない。だが、ふだんとは少し違った時間を提供できることが、主催者としての喜びである。

また、お父さんたちの様子も年々変わってきた。「子どもと遊びを楽しんでいる」ような自然な姿勢で子育てに関わっている父親が増えていると感じる。政府のイクメンプロジェクトのキャッチフレーズは、「育てる男が、家族を変える。社会が動く。」だが、それよりも、家族や社会が、“育て”の楽しみを男にも味わわせることで「育てる男に家族が変わる。」ことが肝心なのではないかと思う。



育児サークルtitiの会 石井 聡



市民交流センター

〒249-0006 神奈川県逗子市逗子 4-2-11  
TEL 046-872-3001  
FAX 046-872-3003  
kouryu@city.zushi.kanagawa.jp



写真がつながる、人々

8月の「ずし平和デー」の会場で展示された、広島・長崎の被爆者の写真を撮っている写真家の砥綿美沙(とわた・ふさ)さんとお話する機会がありました。砥綿さんは30歳。写真の専門学校に通っていた学生時代、たまたま旅行で訪れた広島の平和記念資料館で原爆の非人道性に衝撃を受け、被爆者にインタビューをしながら写真を撮るようになったそうです。



被爆者の中には、長年、自らの体験を誰にも話さずにきたというお年寄りも多くいます。ところが、そんな人でも砥綿さんには心を開き、「あの日」のこと、その後の人生をとつとつと語ってくれることがあるといいます。もしかしたら、自分の孫のような若い砥綿さんと出会い、この人にだけは話しておきたいと思われるのかもしれませんが。若さゆえに聞けることというのがあるような気がします。また、カメラという機械に、人とつながるきっかけを生む不思議な力があることも知りました。

お話を聞いているうちに、私も一眼レフを買って写真を撮ってみようかな、という気になってきました。砥綿さんに「どれくらいで買えますか?」と聞いたら、「最近では、中級機でもとても良くなってきているので、10万円も出せば十分、いいのが買えますよ」と言われました。

えっ、10万ですか。うーん、どうしよう...

市民協働コーディネーター 木下理仁

ボランティアセンター(株)

ひと夏の体験!?



夏休み恒例、福祉教育の一環として中高生対象のボランティア体験「サマースクール」を今年も開催しています。高齢者・障がい者・乳幼児とのふれあいと、施設職員のお手伝いをする中から、新しい気づきや学びのきっかけになってくれることを願っています。

7月は保育園に参加している学生の様子を見に行ってきました。中学生のお兄さんに、ピッタリくっつく園児たちです。今年も保育園希望学生の3分の1以上が男子でした。



開設日・時間:  
月曜日~金曜日 9時~17時  
(交流センター休館日・祝日は除く)



連絡先:  
電話 046-873-8037  
FAX 046-872-2519  
Eメール vc@zushi-shakyo.com



応援していきます！

樹齢800年の大杉に

「再び命を」

沼間五霊神社氏子会が被災神社（2ヶ所）の支援を行っています。

岩手県陸前高田市気仙町の今泉天満宮は、東日本大震災の津波で神殿やご神体などが流されてしまいました。しかし、樹齢800年の大杉が1本だけ残りました。



「天神の大杉」として、長く地元住民に親しまれてきたご神木は、直径約2.7M、高さ約30M。大杉は海水で根の一部が壊死するなど大きなダメージを受けましたが、「再び命を吹き込もう」と全国から集まった造園業者の方によって無償で作業が行われました。

逗子市沼間の五霊神社氏子会は、この活動に賛同し、今泉天満宮に15万円、さらに別の被災神社に10万円、合わせて25万円の義援金を送り、支援を行っています。

情報提供 沼間五霊神社氏子会 杉山様

……子どもフェスティバルで見つけたイクメン・イクジイたち……

「おもちゃの図書館」センターで…



『どこがこわれたの？』『車輪…』『よーし。今直すからね』

普段は社協にいますーおもちゃドクターの秋中さん



陸前高田の仮設住宅に縁台と元気を届けます!!

「いすながおじさん」プロジェクト 桐ヶ谷寛さん



竹とんぼ・水鉄砲作り 小坪の遠藤さん



浴衣姿のパパが粋！ 桜山 富士原さん一家

「ずしの生き物びっくり写真展」

『田越川で子どもたちに自然の素晴らしさを伝えることが何よりも楽しいです。』



小林さん

磯貝さん

フェスティバルパークで…

竹のコップで かんぱーい！



造形あそびで涼しさ発見！

体育館で…

Zushiフレンドパーク

小学生だけで300人集まりました→



Zushiフレンドパーク実行委員 逗子高校 平山君



ジョイフルトレインサイコー♪



大人も 童心に返って♪

—逗子子どもたちへ—

7月15日祭りの日、町を歩くと、ヨチヨチ歩きの子から、中学生・高校生まで、たくさん子どもたちが町中に溢れかえっていました。

浴衣姿の子も多く、それぞれが、楽しそうに闊歩し、遊んでいました。逗子は高齢化社会と思っていた私には、新鮮な光景でした。懐かしい町が戻ってきた感じでした。

この子どもたちが、ふるさと逗子の良さを体感し、ふるさとの文化を受け継いでいってくれたら嬉しいと思いました。



頑張るおじさん 及川洋一

「元気なおやじ」集まれ！

「逗子おやじくらぶ」が発会

8月5日（金）の夕刻、市内のとある居酒屋に元気なおやじ達が集まりました。記念すべき「逗子おやじくらぶ」の第1回会合です。総勢10人、年齢は30代から70代まで、平均すると60歳？といったところ。



発起人のひとり、小坪在住の齊藤さんは乾杯のあいさつで、「父は昔ながらのサラリーマン。家ではテレビのお守り、地域とのつながりが無い。これに対して、母はすごく地域に溶け込んでいる。こうした親を見て、『人生は長い。退職後も地元で楽しく過ごそう』と思った。父みたいな男性が多い今日、そうした人たちが地域に入っていき手伝いをしたいと思っている。」と、その思いを熱く語っていました。

他の参加者からも、「地元の活動の反省会で飲むビールが美味しい」「逗子には飲み友達がいなくて。色々な人と会い、顔を広げたい」など、居場所の重要性が口ぐちに語られました。

その後は、逗子海岸を中心とした逗子の魅力の話や酒肴に皆さん、ほろ酔いになり、次につながるコミュニティが誕生したひと時でした。

おやじくらぶは、定期的に会合を開いて仲間を増やし、将来的には「元気なおやじ達」として、逗子のまちづくりに貢献していくことも想定しているそうです。あなたも「元気なおやじ」に立候補しませんか？ 次回の会合は、9月2日16時から、交流センターで。



問合せ：「逗子おやじくらぶ」発起人 TEL:046-873-8011（井上）（逗子市社会福祉協議会気付け）

お・知・ら・せ

市民活動団体情報交換会

あなたの団体のことを伝えてください。

他団体にPRするチャンスです！

同時に、他団体の情報を収集すれば、もっと充実した市民活動が生まれるでしょう。



日時：9月21日（水）

13時～14時30分

場所：市民交流センター

第2・3会議室

参加無料！

市民活動団体情報交換会：1+1が3になる！そんな素敵な時間を過ごしませんか。